

# 2015年3月期 第2四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2014年10月31日

＜免責事項＞本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

\*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

# USHIO

Lighting—Edge Technologies



Thank you  
50th Anniversary

- I. **第2四半期業績概況**
- II. 通期業績見通し
- III. 参考資料

# 今回の決算発表のポイント

**連結売上高、前年比1.8%減の743億円**  
**連結営業利益、前年比31.4%減の40億円となり、減収減益決算**  
— 通期計画は売上高1,600億円、営業利益110億円に下方修正 —

## 装置事業

### 映像装置

デジタルシネマプロジェクタ（DCP）の販売台数の減少を一般映像分野で補えずYoYで16.6%減収。

### 光学装置

光配向装置の出荷台数は倍増したものの、前年同期にはEUV露光事業の売上が含まれていたため、YoYで2.5%減収。

### 営業利益

DCPの販売減とEUV露光事業縮小などを反映し、25億円の減益。

## 光源事業

### 放電ランプ

露光用UVランプはほぼ横ばいで推移。シネマ用、データプロジェクタ用など映像用ランプが牽引し、YoYで14.1%増収。

### ハロゲンランプ

OA用ハロゲンランプが好調を維持し、YoYで5.9%増収。

### 営業利益

売上増に伴う数量効果でYoYで18.4%増益。

# 業績サマリー

(億円)	FY13	FY14	YoY		FY14	FY14	対計画	
	1H	1H	増減	%	1H計画	1H実績	増減	達成率 (%)
売上高	757	743	▲13	▲1.8	780	743	▲36	95.3
営業利益	58	40	▲18	▲31.4	55	40	▲15	72.9
営業利益率 (%)	7.7	5.4	▲2.3P	-	7.1	5.4	▲1.7P	-
経常利益	77	51	▲26	▲33.7	66	51	▲15	78.0
当期利益	51	44	▲6	▲12.9	50	44	▲5	89.8
EPS (円)	39.34	34.48	-	-	38.20	34.48	-	-
為替レート (円)								
USD	99	103			100	103		
EUR	130	139			130	139		

為替による通期の 影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
対 USD	10	1	1

# 業績サマリー 《四半期比較》

(億円)	1Q	2Q	QoQ	
			増減	%
売上高	344	399	+54	+15.8
営業利益	14	25	+11	+77.5
営業利益率 (%)	4.2	6.4	+2.2P	-
経常利益	17	33	+15	+89.4
当期利益	13	31	+17	+123.5
EPS (円)	10.66	23.82	-	-
為替レート (円)				
USD	102	103		
EUR	141	138		

# セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率



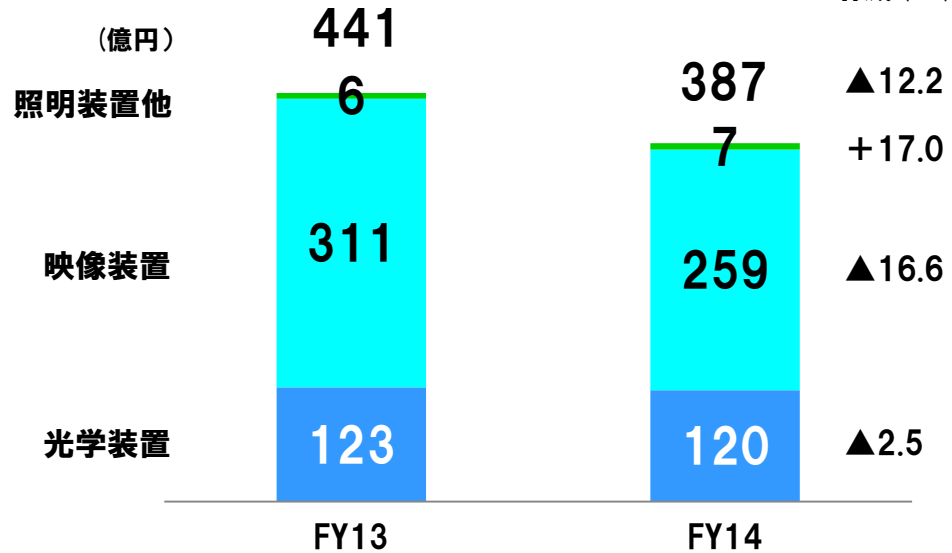
(億円)	セグメント	FY13	FY14	YoY		FY13	FY14	HoH	
		1H	1H	増減	%	2H	1H	増減	%
装置事業	売上高	441	387	▲53	▲12.2	470	387	▲83	▲17.7
	営業利益	20	▲4	▲25	-	4	▲4	▲9	-
	営業利益率 (%)	4.6	▲1.2	▲5.8P	-	1.0	▲1.2	▲2.2P	-
光源事業	売上高	303	340	+37	+12.3	332	340	+8	+2.5
	営業利益	36	43	+6	+18.4	57	43	▲13	▲23.5
	営業利益率 (%)	12.1	12.8	+0.7P	-	17.2	12.8	▲4.3P	-
その他	売上高	12	15	+2	+18.5	17	15	▲1	▲11.4
	営業利益	0	0	▲0	-	0	0	+0	-
	営業利益率 (%)	3.5	2.6	▲0.8P	-	1.9	2.6	+0.7P	-

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

# 装置事業セグメント概況

《1H前年比較》

売上高



映像装置

シネマ分野はYoYで減収も、QoQではDCPの出荷台数が増加に転じ増収。一般映像分野はYoY, QoQいずれも増収。

光学装置

YoYで減収となった要因の一部はEUV露光事業縮小。QoQでは露光装置を含むUV装置、光配向装置が増収し、光学装置全体も増収。

《1H前年比較》

(億円)

FY13

1H

FY14

1H

YoY

《2Q直前期比較》

(億円)

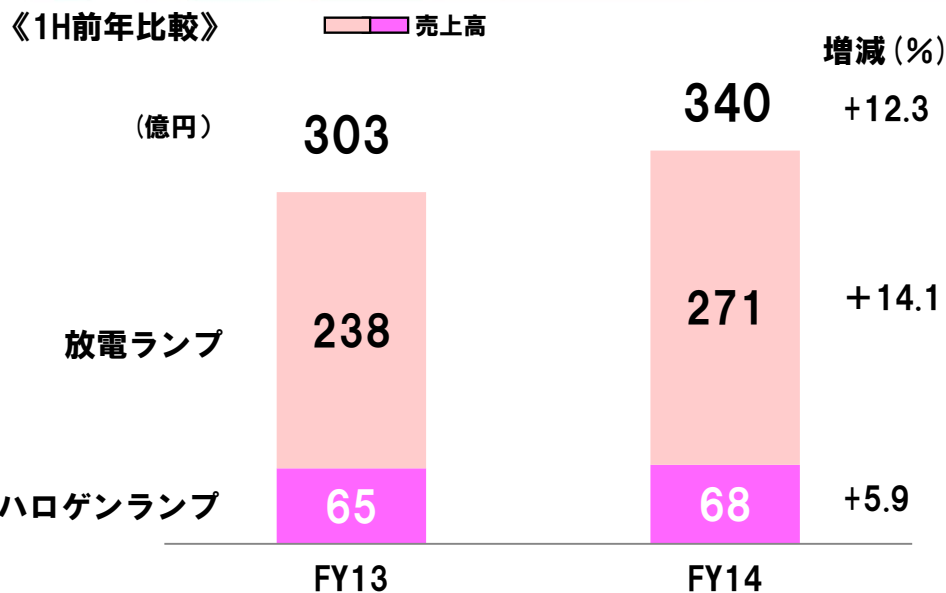
1Q

2Q

QoQ

売上高	セグメント	FY13 1H	FY14 1H	YoY	売上高	セグメント	1Q	2Q	QoQ
	映像装置	311	259	▲51		映像装置	119	140	+21
	光学装置	123	120	▲3		光学装置	46	73	+27
	照明装置他	6	7	+1		照明装置他	2	5	+2
<b>合計</b>		<b>441</b>	<b>387</b>	<b>▲53</b>	<b>合計</b>		<b>168</b>	<b>219</b>	<b>+51</b>

# 光源事業セグメント概況



**放電ランプ**  
YoYでは露光用UVランプがほぼ横ばいに留まるも、映像用各種ランプが牽引し14.1%増収。QoQでは1Qの販売モメンタムが持続し、微増。

**ハロゲンランプ**  
YoYではOA用を中心に5.9%増収。

《1H前年比較》 (億円)	FY13	FY14	YoY	《2Q直前四半期比較》 (億円)	1Q	2Q	QoQ
	1H	1H			1Q	2Q	
売上高 放電ランプ	238	271	+33	売上高 放電ランプ	135	136	+0
ハロゲンランプ	65	68	+3	ハロゲンランプ	34	34	+0
<b>合計</b>	<b>303</b>	<b>340</b>	<b>+37</b>	<b>合計</b>	<b>169</b>	<b>171</b>	<b>+1</b>

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載



- I. 第2四半期業績概況
- II. 通期業績見通し
- III. 参考資料

# 新通期計画値

(億円)	通期計画	新通期計画値	1H	对新計画値 進捗率 (%)
売上高	1,700	1,600	743	46.5
営業利益	140	110	40	36.5
営業利益率 (%)	8.2	6.9	5.4	-
経常利益	160	130	51	39.6
当期利益	110	100	44	44.9
EPS (円)	84.03	76.68	34.48	-
ROE (%)	5.7	5.2	-	-
配当 (円)	24	24	-	-
配当性向 (%)	28.6	31.3	-	-
為替レート (円)	USD	100	105	103
	EUR	130	139	139

## 装置事業

### 映像装置

通期でのDCP販売台数は前期を下回るものの、下期は新興国を中心に上期を上回る出荷台数が見込まれる。一般映像は堅調に推移し新規事業、レーザプロジェクタ事業の販売が立ち上がる予定。映像装置全体では上期比で2割増収を見込む。

### 光学装置

露光装置（UXシリーズ）はMEMS用、TAB露光装置など既存製品の出荷が計画されており、光配向装置の出荷も期初計画通り上期を上回る予定であり、光学装置全体で上期比3割増収。

## 光源事業

### 放電ランプ

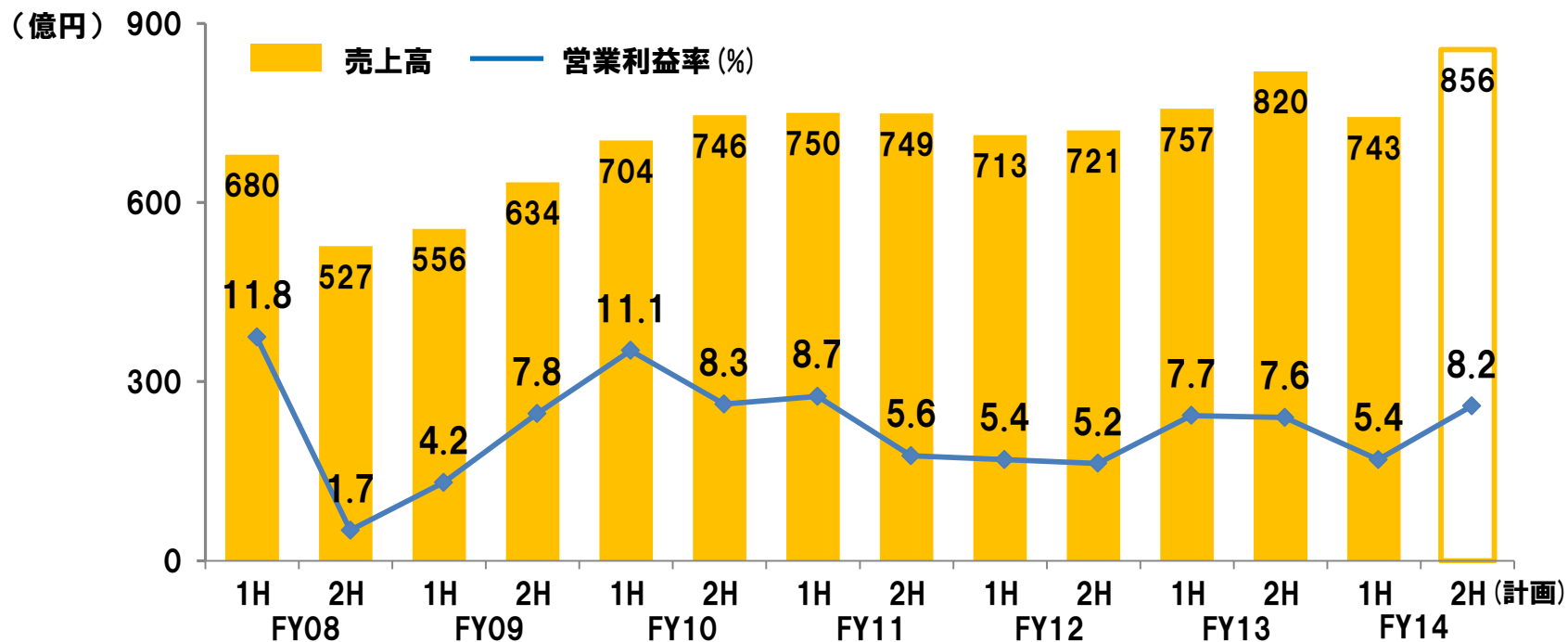
上期のモメンタムを維持し、微増収。UVランプは高シェアを維持し横ばい。シネマランプはシェア拡大から利益重視へ。

### ハロゲンランプ

OA用途の伸長が一段落するものの、堅調に推移、微増収。

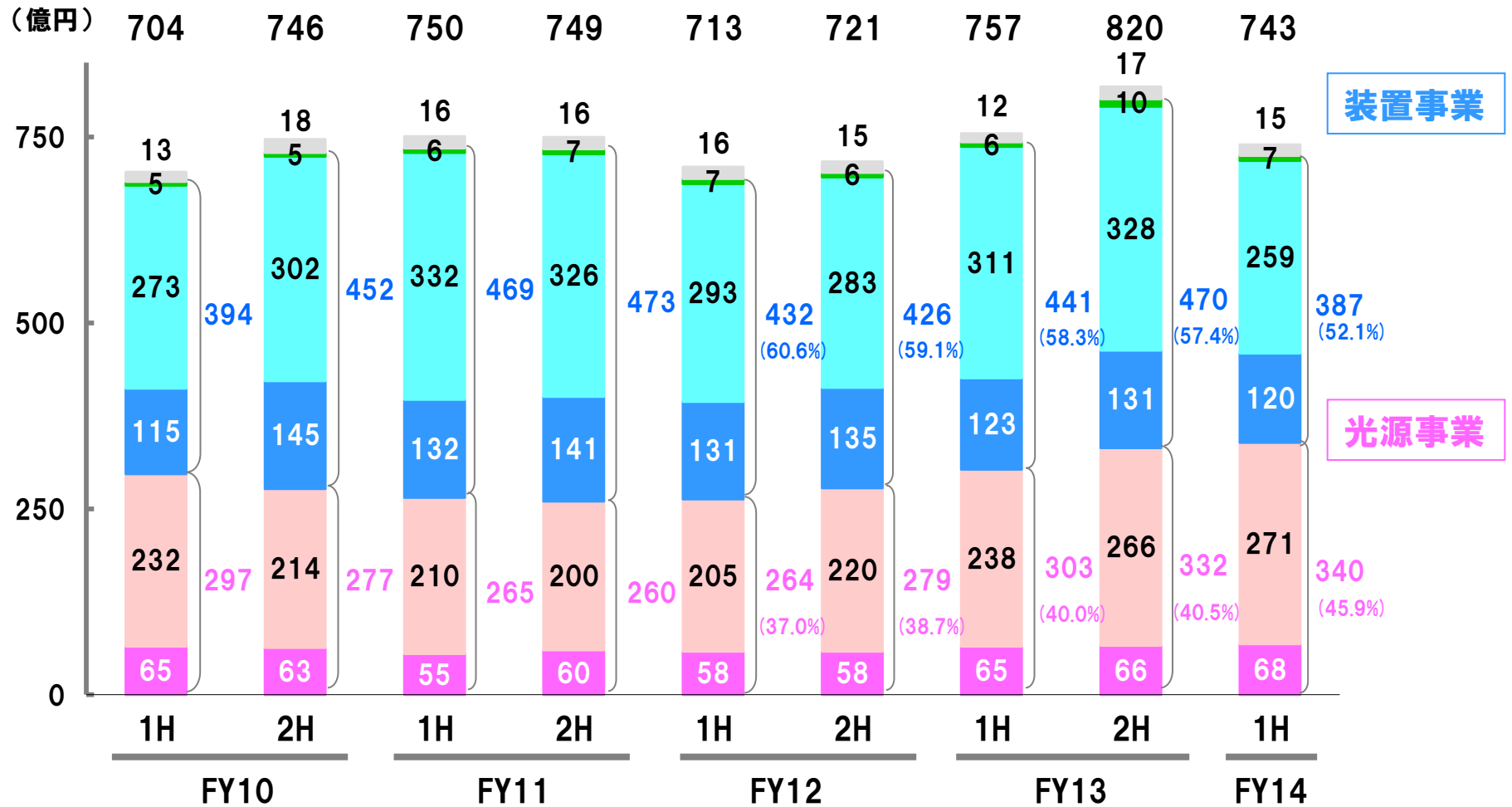
- I. 第2四半期業績概況
- II. 通期業績見通し
- III. **参考資料**

# 半期業績推移



	FY08		FY09		FY10		FY11		FY12		FY13		FY14	
	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H (計画)
売上高	680	527	556	634	704	746	750	749	713	721	757	820	743	856
営業利益	80	9	23	49	78	61	65	41	38	37	58	62	40	69
営業利益率 (%)	11.8	1.7	4.3	7.8	11.1	8.3	8.7	5.6	5.4	5.2	7.7	7.6	5.4	8.2

# サブセグメント別売上高 《半期比較》



## 装置事業

- 映像装置
- 照明装置他
- 光学装置

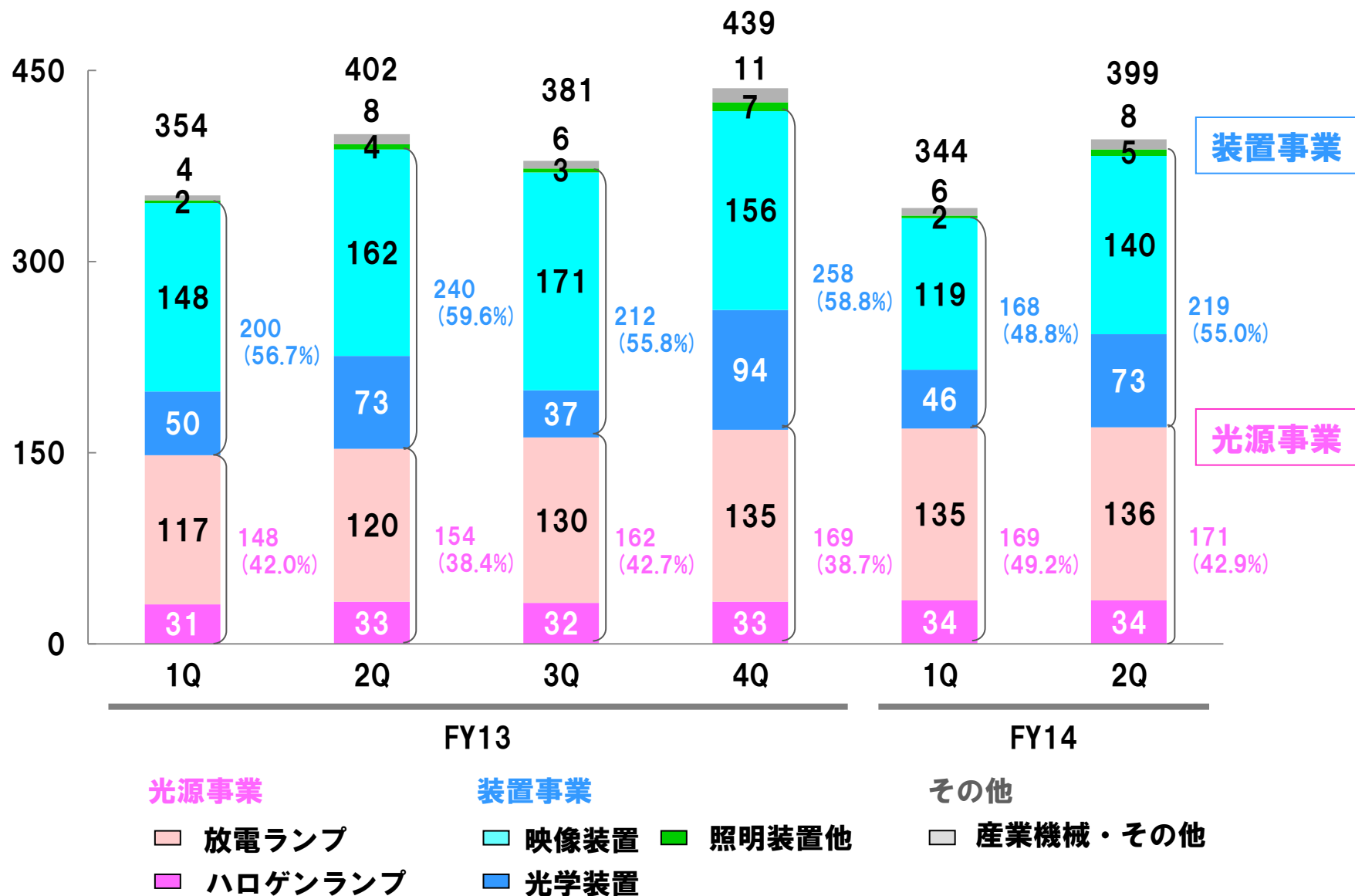
## 光源事業

- 放電ランプ
- ハロゲンランプ

## その他

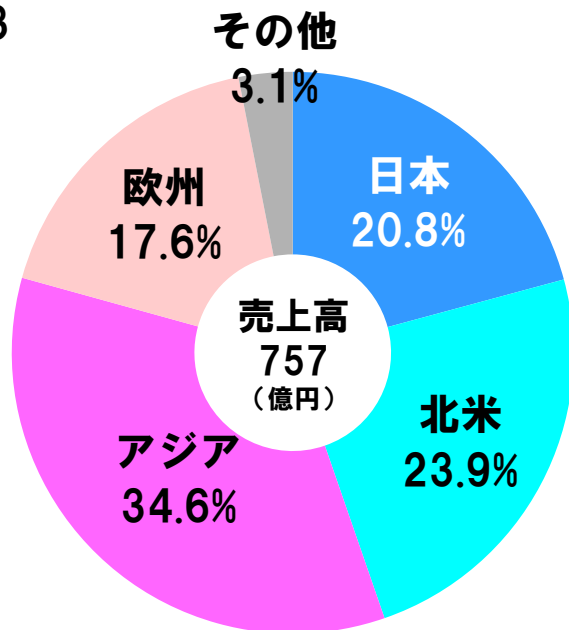
- 産業機械・その他

# サブセグメント別売上高

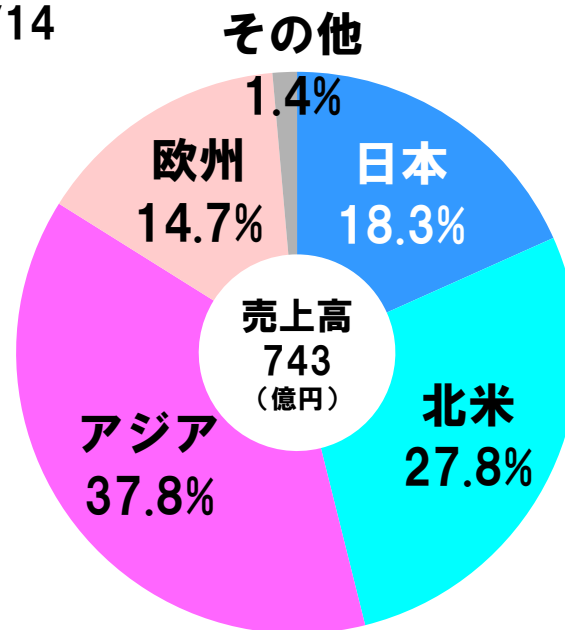


# 海外売上高比率 《1H》

◆FY13



◆FY14





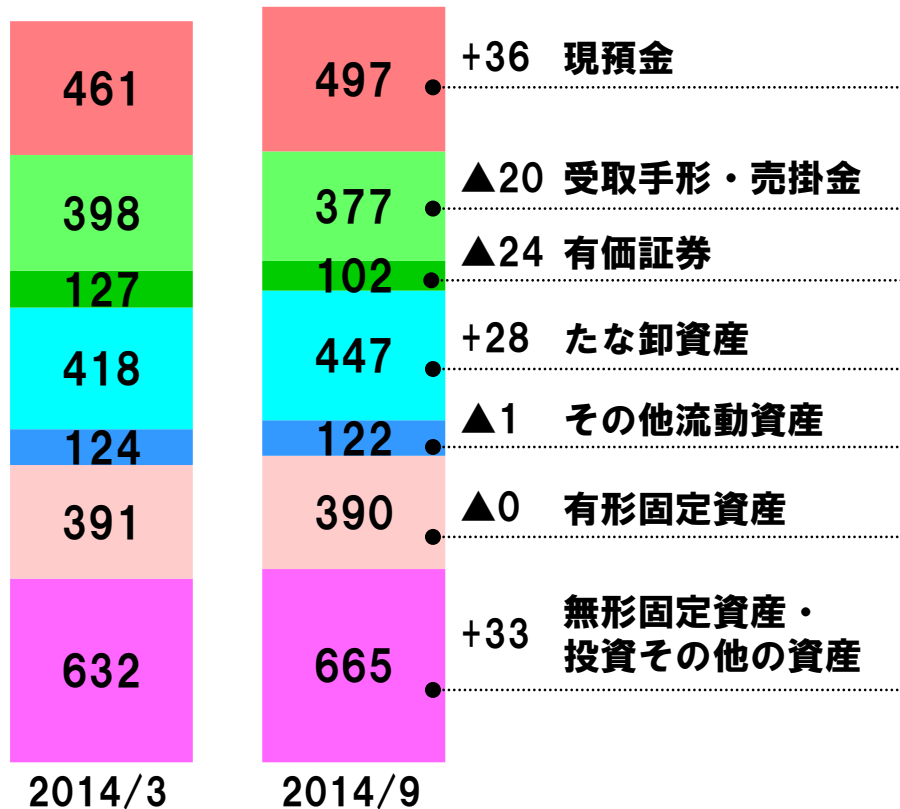
# 営業外収支《1H》

(億円)	FY13	FY14	YoY
<b>営業外収益</b>	21	14	▲7
受取利息	2	3	+0
受取配当金	5	5	+0
為替差益	5	-	▲5
売買目的有価証券運用益	1	2	+1
投資有価証券売却益	1	-	▲1
その他	4	2	▲1
<b>営業外費用</b>	2	2	+0
支払利息	1	0	▲0
為替差損	-	0	+0
持分法による投資損失	0	0	+0
その他	0	1	+0
<b>営業外収支</b>	19	11	▲7

# BS内訳

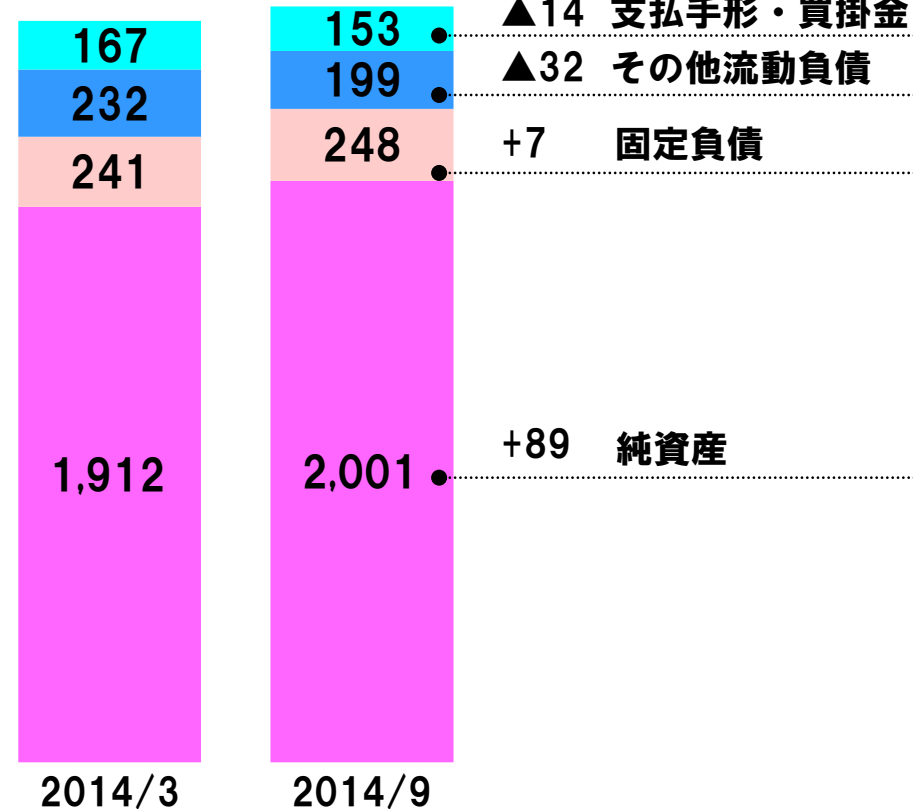
## ◆資産（億円）

2,553      2,603      増減 +50



## ◆負債・純資産（億円）

2,553      2,603      増減 +50



### ●回転月数（ヶ月）

2014/3      2014/9

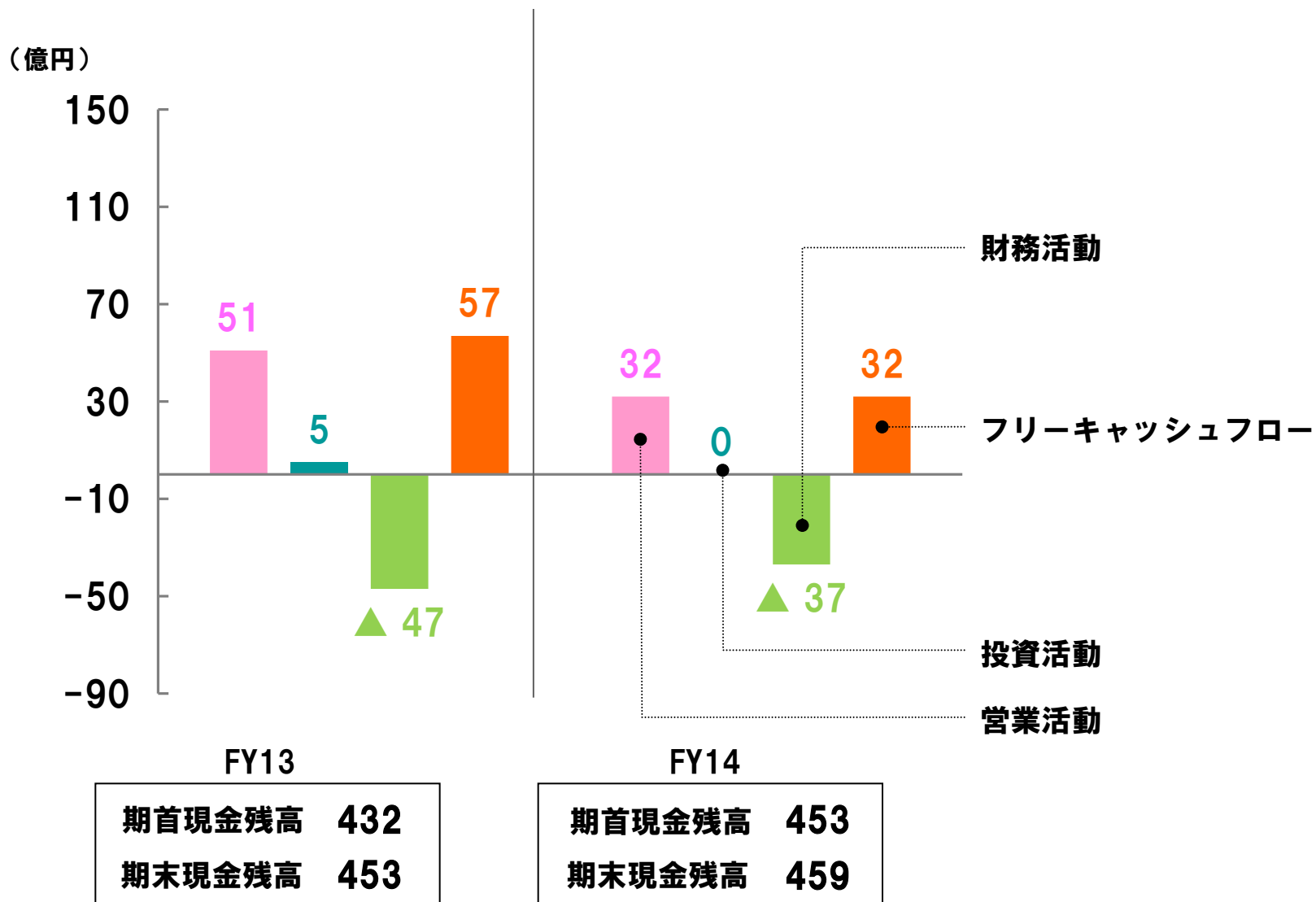
売上債権	2.8	3.1
たな卸資産	3.0	3.5

### ●自己資本比率（%）

2014/3      2014/9

73.5	75.9
------	------

# キャッシュフロー《1H》

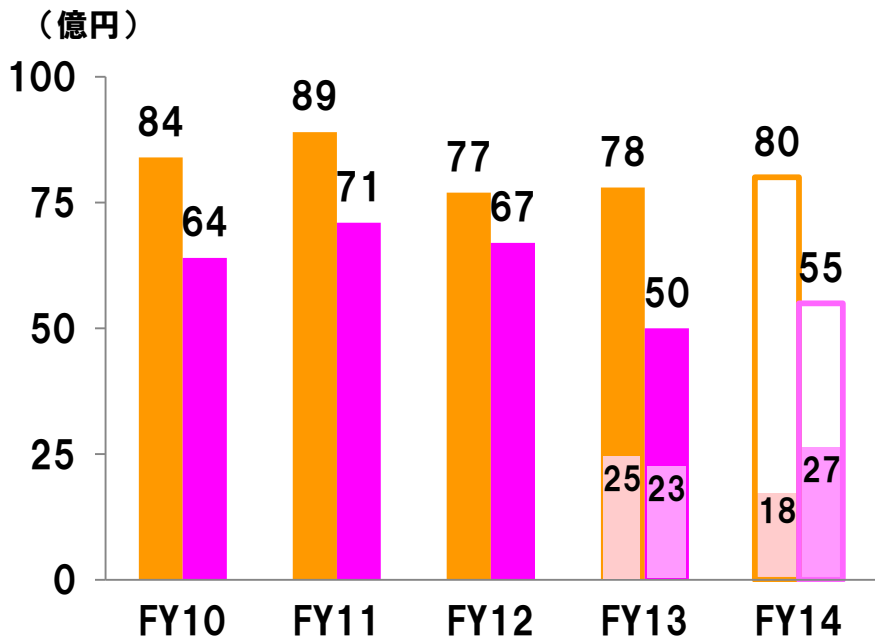


# 設備投資額・減価償却費・研究開発費



## ◆設備投資額・減価償却費

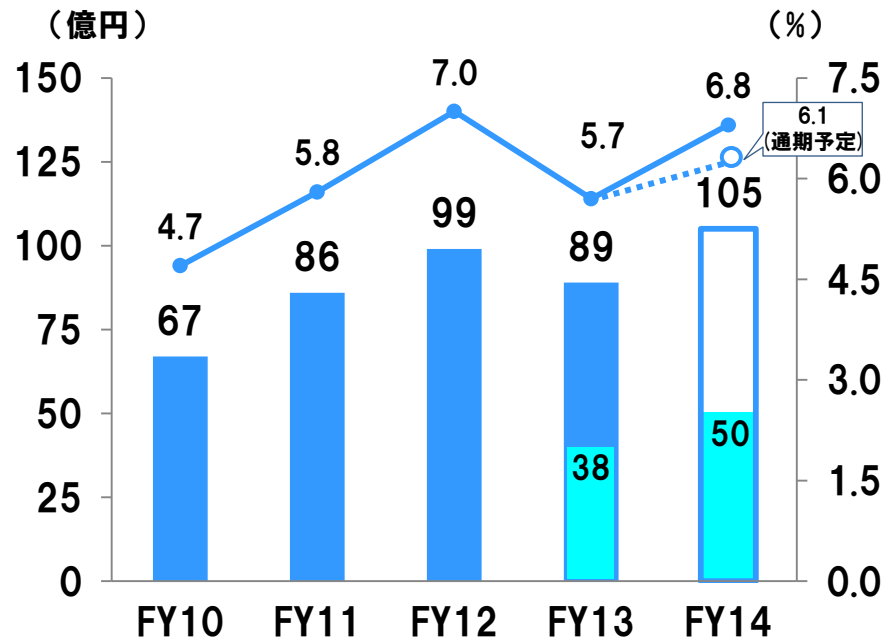
■ 設備投資額 ■ 減価償却費



	1Q	2Q
設備投資額	9	8
減価償却費	13	13

## ◆研究開発費

■ 研究開発費 ● 売上高研究開発費率 (%)



	1Q	2Q
研究開発費	24	26

# T O P I C S

## — 固体光源事業の拡大を加速化 —

ウシオ電機株式会社は、100%子会社であるウシオオプトセミコンダクター株式会社が、Oclaro, Inc.の100%子会社である日本オクラロ株式会社と、8月5日に吸収分割契約を締結し、日本オクラロのLED事業、赤色、紫色、及び赤外レーザダイオード事業の一部を買収することで合意いたしましたのでお知らせします。

ウシオは創業以来、産業用光源のトップメーカーとして、各種ランプおよび固体光源の開発・製造・販売を行ってまいりました。このたび弊社グループ内における固体光源事業の更なる拡大を目的に、日本オクラロの光通信用を除く半導体レーザ並びにLEDの開発・製造・販売にかかわる事業を、ウシオオプトセミコンダクターが承継することになりました。

※2014年8月6日公表のリリースより

※2014年10月27日クロージング

■ **所在地**  
東京都千代田区(本社・営業本部) / 長野県小諸市(小諸事業所)

■ **事業規模**  
年間売上高 30~40億円の見込み

■ **主な取扱商品**  
CANタイプの赤レーザー、赤外レーザー、紫レーザー、高輝度赤外LED

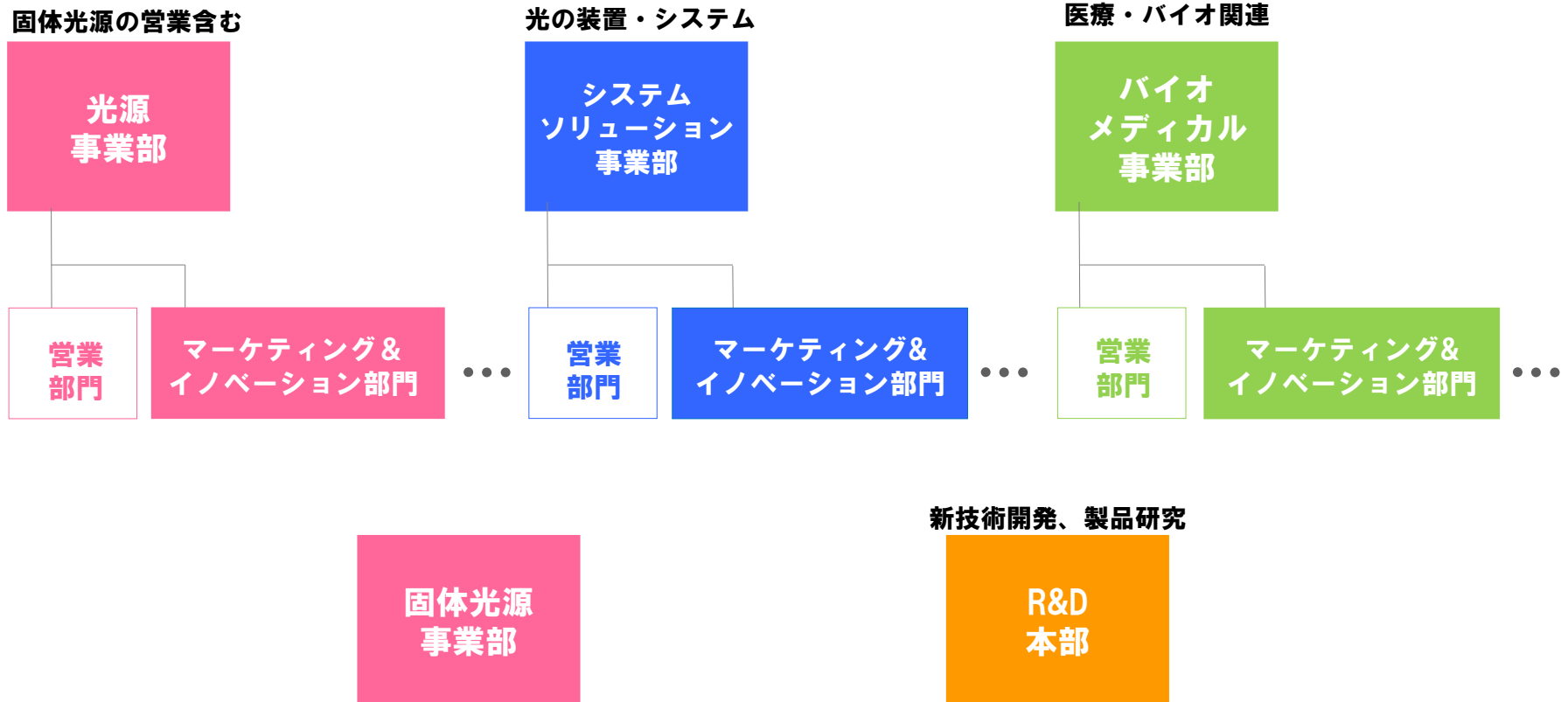


■ **主なアプリケーション**



# 組織再編-マーケティング&イノベーション部門を設置-

10月1日の組織改正にて、社内組織を4つの事業部とR&D本部に再編成。光源事業部（固体光源の営業機能含む）・システムソリューション事業部（光学装置）・バイオメディカル事業部にはそれぞれマーケティング&イノベーション部門を設置し、新事業開拓や事業化できる商品開発を加速化。







Thank you  
50th Anniversary

**USHIO**

本資料に関するお問い合わせ先  
ウシオ電機（株）コーポレートコミュニケーション部  
（03）3242-1836  
[contact@ushio.co.jp](mailto:contact@ushio.co.jp)  
<http://www.ushio.co.jp/jp/>